


## RioTinto

## 1. 化学品及び会社情報

|                   |  |
|-------------------|--|
| 化学品の名称            | : 炭酸リチウム   |
| 化学物質を特定する他の方法     | : 炭酸ニリチウム, 炭酸, リチウム塩(1:2)  |
| 製品タイプ             | : 粉末。  |
| 推奨用途及び使用上の制限      |  |
| 薬品使用法             | : 工業用途: 化学物質製造業。化学合成。水酸化リチウム生産。セラミックおよびガラス製造業。陰極/電池製造。   |
| 発行日/改訂版の日付        | : 2024年11月25日  |
| 前作成日              | : 2019年8月5日  |
| 供給者の会社名称、住所及び電話番号 | : Rio Tinto Commercial Pte. Ltd.<br>12 Marina Boulevard<br>#20-01 Marina Bay Financial Centre Tower 3<br>Singapore 018982<br>Tel: +65 6679 9000<br><br>製造業者:<br>Rincon Mining Pty Limited<br>Necochea 867, Planta Baja<br>CP 4400, Salta<br>Argentina<br>Tel: +54 387 495 5900 |
| 本SDS担当者の電子メールアドレス | : rtb.sds@riotinto.com   |
| 緊急連絡電話番号          | : 0120 015 230 (フリーダイヤル、日本からのみアクセス) (Rio Tinto Lithium)<br>化学物質の緊急事態、流出、火災や応急処置についてのアドバイスのために。   |

## 2. 危険有害性の要約

|                        |  |
|------------------------|--|
| 化学品のGHS 分類             | : 急性毒性(経口) - 区分4<br>眼刺激性 - 区分2A  |
| GHS ラベル要素<br>絵表示又はシンボル | :   |
| 注意喚起語                  | : 警告   |
| 危険有害性情報                | : 飲み込むと有害。<br>強い眼刺激。   |
| 注意書き                   |  |
| 安全対策                   | : 保護眼鏡又は保護面を着用すること。  |
| 応急措置                   | : 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは毒センターまたは医師に連絡すること。口をすすぐこと。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当てを受けること。 |
| 保管                     | : 該当しない  |
| 廃棄                     | : 内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従い廃棄すること。   |

## 2. 危険有害性の要約

その他の危険有害性 : 該物質の取り扱いや加工により、眼、皮膚、鼻及びのどへの物理的刺激の原因となる可能性のある粉塵が発生することがある。粉塵を繰り返しあるいは長期間吸入すると、慢性の呼吸器炎を引き起こすことがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 化学物質

### CAS 番号/他の特定名

CAS登録番号 : 554-13-2

化審法番号 : (1)-154

労働安全衛生法番号 : データなし

| 化学名又は一般名 | 含有量(%) | 識別子           | 官報公示整理番号 |       |
|----------|--------|---------------|----------|-------|
|          |        |               | 化審法      | 安衛法   |
| 炭酸リチウム   | ≥98    | CAS: 554-13-2 | 1-154    | データなし |

供給者の現在の知識及び該当濃度では、健康または環境に有害であると分類される成分は含まれておりません。したがってこのセクションでは、報告義務がございません。

職業曝露限界値の設定がある場合は、第8章に記載。

## 4. 応急措置

### 必要な応急処置の説明

- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

#### 予想される急性健康影響

- 眼に入った場合 : 強い眼刺激
- 吸入した場合 : 規制の又は勧告されている曝露限界濃度を超える空気浮遊物質に曝露すると、鼻、のど及び肺に炎症を引き起こす原因となる可能性がある。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害

#### 短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : データなし

#### 過剰にばく露した場合の徴候症状

- 眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
痛み及び刺激  
流涙  
充血
- 吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
気道刺激性  
咳

## 4. 応急措置

- 皮膚に付着した場合 : 特にデータは無い。  
飲み込んだ場合 : 特にデータは無い。

### 必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置

- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。  
医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。  
特定の治療法 : 特定の治療法はない。

有害性情報を参照(セクション11)

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

- 適切な消火剤 : 火災状況に適した消火剤を使用する。  
使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 特定の火災爆発の危険有害性はない。

- 有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:  
二酸化炭素  
一酸化炭素  
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

備考 : 製品は引火性、可燃性、爆発性ではありません。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。粉塵の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。  
緊急時対応要員について : 漏出の対応に専用保護具等が必要な場合には、セクション8に記載の適切な素材を参照する。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合 : 漏出区域から容器を移動する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。粉塵の発生を避けること。  
大量に流出した場合 : 漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。粉塵状態になるのを避け、風による散乱を防止する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意: 緊急連絡先はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全に取扱うための注意事項

- 安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。飲み込まないで下さい。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。粉塵の吸入を避ける。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。
- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

### ばく露限界

| 化学名又は一般名 | ばく露限界値  |
|----------|---|
| 炭酸リチウム   | Rio Tinto recommended OEL (米国, 6/2022)<br>[Lithium and compounds (as Li)]<br>STEL: 0.02 mg/m <sup>3</sup> (吸入性). 形: (Liのように). |

### 生物学的曝露指数

曝露指標は知られていない。

- 設備対策** : 換気が十分な場所でのみ使用する。ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

- 環境暴露管理** : 換気装置及び作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げするために煙霧清浄機やフィルター、あるいは工程装置の技術的改良が必要になることもある。

### 保護具

- 衛生対策** : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

- 呼吸用保護具** : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

- 手の保護具** : 適切な手袋を着用する。

- 保護眼鏡/保護面** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。作業条件により高濃度の粉塵が発生する場合は、粉塵用ゴーグルを着用する。

### 皮膚及び身体の保護具

- 身体保護具** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

- その他の皮膚保護具** : この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

## 9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

### 外観

- 物理的状态** : 固体 [結晶性粉末.]
- 色** : 白。
- 臭い** : 無臭。
- pH** : 11.2 [濃度 (% w/w): 1含有量(%)]
- 融点/凝固点** : 722°C (1331.6°F) [EU A.1]
- 沸点又は初留点及び沸点範囲** : 該当しない [分解します]
- 引火点** : 非該当 (個体)
- 可燃性** : 非引火性。 [EU A.10]

## 9. 物理的及び化学的性質

|                       |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 爆発下限界及び爆発上限界／<br>可燃限界 | : 該当 (個体)                           |
| 蒸気圧                   | : 該当しない [融点 >300° C]                |
| 蒸気密度                  | : 該当 (個体)                           |
| 相対ガス密度                | : 該当 (個体)                           |
| 相対密度                  | : 1 [20° C]                         |
| 密度                    | : 1 g/cm <sup>3</sup> [20°C (68°F)] |
| 塊の密度                  | : データなし                             |
| 粒度分析                  | : データなし                             |
| 水への溶解度                | : 0.4 g/l at 20 ± 0.5° C [OECD 105] |
| n-オクタノール／水分配係数        | : 該当しない [無機物質。]                     |

|       |                  |
|-------|------------------|
| 自然発火点 | : 該当 (個体)        |
| 分解温度  | : 300°C (2372°F) |
| 粘度    | : 該当しない (solid)  |
| 粒子特性  |                  |
| 中央粒径値 | : データなし          |

## 10. 安定性及び反応性

|            |  |
|------------|--|
| 反応性        | : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。    |
| 化学的安定性     | : 製品は安定である。                                    |
| 危険有害反応可能性  | : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。                 |
| 避けるべき条件    | : 特にデータは無い。                                    |
| 混触危険物質     | : 強酸 および 強酸化剤 (フッ素など。) フッ素と激しく反応します。           |
| 危険有害な分解生成物 | : 危険有害な分解生成物: 酸化リチウム。熱分解: 危険有害な分解生成物: > 600° C |

## 11. 有害性情報

### 有害性情報

#### 急性毒性

| 製品 / 成分の名称 | 結果                  | 種類  | 投与量         | ばく露時間 |
|------------|---------------------|-----|-------------|-------|
| 炭酸リチウム     | LC50 吸入した場合 微塵および噴霧 | ラット | >2 mg/l     | 4 時間  |
|            | LD50 経皮             | ウサギ | >3000 mg/kg | -     |
|            | LD50 経口             | ラット | 525 mg/kg   | -     |

結論/要約 : 飲み込むと有害性。

#### 刺激性/腐食性

| 製品 / 成分の名称 | 結果           | 種類               | スコア | ばく露時間 | 観察 |
|------------|--------------|------------------|-----|-------|----|
| 炭酸リチウム     | 眼 - 刺激物      | ニュージーランド<br>白ウサギ | -   | 0.1g  | -  |
|            | 皮膚 - 刺激性ではない | ニュージーランド<br>白ウサギ | -   | 0.5g  | -  |

#### 結論/要約

|      |  |
|------|--|
| 皮膚   | : 皮膚に対する刺激性はない。入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。                                       |
| 眼    | : 目に刺激性があります。洗っていない目で得られた結果に基づき、炭酸リチウムはカテゴリー区分 2A (H319) に分類され、ラベル付けする必要があります。 |
| 呼吸器系 | : 入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。  |

## 11. 有害性情報

### 皮膚感作性/呼吸器感作性

| 製品 / 成分の名称 | 暴露経路 | 種類    | 結果   |
|------------|------|-------|------|
| 炭酸リチウム     | 皮膚   | モルモット | 非感作性 |

#### 結論/要約

- 皮膚 : 皮膚感作物質ではありません。入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。  
呼吸器系 : 呼吸器感作性試験は行っていない。入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。

### 生殖細胞変異原性

| 製品 / 成分の名称                     | テスト      | 試験                       | 結果 |
|--------------------------------|----------|--------------------------|----|
| 炭酸リチウム (水酸化リチウムへのリードアクロスに基づく)。 | OECD 471 | 試験: 試験管内で<br>被検体: バクテリア  | 陰性 |
|                                | OECD 476 | 試験: 試験管内で<br>被検体: 哺乳類-動物 | 陰性 |
|                                | OECD 473 | 試験: 試験管内で<br>被検体: 哺乳類-ヒト | 陰性 |

- 結論/要約 : 変異性ではない(水酸化リチウムへのリードアクロスに基づく)。入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。

### 発がん性

- 結論/要約 : 発がん性試験は行っていない。入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。

### 生殖毒性

| 製品 / 成分の名称 | 妊娠毒性 | 妊性 | 発生毒性 | 種類  | 投与量 | ばく露時間 |
|------------|------|----|------|-----|-----|-------|
| 炭酸リチウム     | -    | -  | -    | ラット | 経口  | -     |

- 結論/要約 : 入手可能な実験テストデータは信頼性が高く、規制 (EC) No 1272/2008 に基づく分類目的に適しています。入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。

### 催奇形性

| 製品 / 成分の名称 | 結果                    | 種類  | 投与量 | ばく露時間 |
|------------|-----------------------|-----|-----|-------|
| 炭酸リチウム     | 試験結果は肯定的でしたか? -<br>経口 | ラット | -   | -     |

- 結論/要約 : 生殖毒性を参照のこと。

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

| 名称                        | カテゴリー | 暴露経路 | 標的器官 |
|---------------------------|-------|------|------|
| 入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。 |       |      |      |

### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

| 名称                        | カテゴリー | 暴露経路 | 標的器官 |
|---------------------------|-------|------|------|
| 入手できるデータからは、分類基準は満たしていない。 |       |      |      |

### 誤えん有害性

| 名称                         | 結果 |
|----------------------------|----|
| 固体粉末の物理的形狀であり、吸入の危険有害性はない。 |    |

可能性のある暴露経路についての情報 : 予想される侵入経路: 経口、経皮、吸入した場合、眼。

### 予想される急性健康影響

- 眼に入った場合 : 強い眼刺激  
吸入した場合 : 規制の又は勧告されている暴露限界濃度を超える空気浮遊物質に曝露すると、鼻、のど及び肺に炎症を引き起こす原因となることがある。  
皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害

### 物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

## 11. 有害性情報

- 眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
痛み及び刺激  
流涙  
充血
- 吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:  
気道刺激性  
咳
- 皮膚に付着した場合 : 特にデータは無い。
- 飲み込んだ場合 : 特にデータは無い。

### 遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

#### 短期的にばく露した場合の徴候症状

- 潜在的な即時性作用 : データなし
- 予想される遅発性影響 : データなし

#### 長期暴露

- 潜在的な即時性作用 : データなし
- 予想される遅発性影響 : データなし

#### 健康への慢性効果の可能性

- 概要 : 粉塵を繰り返しあるいは長期間吸入すると、慢性の呼吸器炎を引き起こすことがある。
- 発がん性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 催奇形性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 発育への影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 生殖能力に対する影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

### 毒性の数値化

#### 急性毒性の推定

| 製品 / 成分の名称 | 経口 (mg/kg) | 経皮 (mg/kg) | 吸入 (気体) (ppm) | 吸入 (蒸気) (mg/l) | 吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l) |
|------------|------------|------------|---------------|----------------|---------------------|
| 炭酸リチウム     | 525        | N/A        | N/A           | N/A            | N/A                 |

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

| 製品 / 成分の名称 | 結果   | 種類   | ばく露時間  |
|------------|--|--|--|
| 炭酸リチウム     | 急性 EC50 135 mg/l 真水<br>急性 NOEC 9 mg/l 真水<br>急性 LC50 30.3 mg/l 真水<br>慢性 NOEC 9 mg/l 真水<br>急性 EC50 33.2 mg/l 真水<br>慢性 NOEC 15.28 mg/l 真水 | 藻類<br>藻類<br>Oncorhynchus mykiss<br>ミジンコ類: ミジンコ<br>ミジンコ類: ミジンコ<br>Brachydanio rerio | 72 時間<br>72 時間<br>96 時間<br>21 日<br>48 時間<br>34 日 |

- 結論/要約 : 手できるデータからは、分類基準は満たしていない。

### 残留性・分解性

- 結論/要約 : 該当しない 無機物質。

### 生体蓄積性

## 12. 環境影響情報

| 製品 / 成分の名称   | LogP <sub>ow</sub> | BCF | 可能性 |
|--|--------------------|-----|-----|
| <b>炭酸リチウム:</b><br>リチウム塩は生体蓄積性がないと考えられています。リチウム塩の陰イオン部分は天然であるか、または化学的に天然物質と区別が付きません。炭酸塩、塩化物、硝酸塩などの陰イオン部分は自然界に広く存在しています。したがって、リチウム成分の生体蓄積性に関するデータのみが考慮されます。評価された文献の最高BAF/BCF値を再計算した結果、炭酸リチウムのBCFは43 L/kg、BAFは85でした。したがって、炭酸リチウムは生体蓄積性がないと考えられています。 |                    |     |     |

## 土壌中の移動性

**土壌/水分係数(K<sub>oc</sub>)** : 試験物質の主成分は陰イオンであるため、試験物質の移動性は土壌の陰イオン交換容量に依存しますが、利用可能なK<sub>d</sub>値に基づく、物質の吸着可能性は低いとみなすことができます。

**移動性** : 低

**オゾン層への有害性** : 該当しない

**他の有害影響** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法** : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

## 14. 輸送上の注意

|                 | UN    | IMDG  | IATA  |
|-----------------|-------|-------|-------|
| <b>国連番号</b>     | 規定なし。 | 規定なし。 | 規定なし。 |
| <b>品名</b>       | -     | -     | -     |
| <b>国連分類 クラス</b> | -     | -     | -     |
| <b>容器等級</b>     | -     | -     | -     |
| <b>環境有害性</b>    | 該当せず。 | 該当せず。 | 該当せず。 |

**使用者のための特別な予防措置** : 該当しない

**IMO機器による積み運搬** : 該当しない



## 15. 適用法令

### 消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

### 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

| 化学名又は一般名 | 含有量(%) | 状況 | 整理番号  |
|----------|--------|----|-------|
| 炭酸リチウム   | ≥90    | 該当 | 337-2 |

名称等を通知すべき危険物及び有害物

| 化学名又は一般名 | 含有量(%) | 状況 | 整理番号  |
|----------|--------|----|-------|
| 炭酸リチウム   | ≥90    | 該当 | 337-2 |

### 化学物質審査規制法

非該当

### 毒物及び劇物取締法

非該当

### PRTR(Pollutant Release and Transfer Registers) – 2023年3月まで

非該当

### PRTR(汚染物質排出・移動登録制度) – 2023年4月より

| 化学名又は一般名 | 含有量(%) | 元素として | 状況  | 整理番号 |
|----------|--------|-------|-----|------|
| 炭酸リチウム   | 99     |       | 第一種 | 668  |

### インベントリリスト

- オーストラリア : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- カナダ : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- 中国 : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- ユーラシア経済連合 :  シア連邦の在庫: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- 日本 : 日本インベントリ(化審法既存及び新規公示化学物質): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。  
日本インベントリ(ISHL): 未確定。
- ニュージーランド : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- フィリピン : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- 大韓民国 : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- 台湾 : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- タイ :  全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- トルコ : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- 米国 :  全ての構成成分がアクティブか、または免除されます。
- ベトナム :  全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

## 16. その他の情報

### 履歴

- 発行日/改訂版の日付 : 2024/11/25
- 前作成日 : 2019/08/05
- バージョン : 1.02

## 16. その他の情報

ATE = 急性毒性推定値  
BCF = 生物濃縮係数  
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム  
IATA = 国際航空輸送協会  
IBC = 中型運搬容器  
IMDG = 国際海上危険物  
IMSBC = 国際海事固体ばら積み貨物コード  
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数  
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)  
N/A = データなし  
SGG = 隔離グループ  
UN = 国際連合

## 分類を行うために使用する手順

| 分類                             | 由来               |
|--------------------------------|------------------|
| 急性毒性 (経口) - 区分4<br>眼刺激性 - 区分2A | 専門家の判断<br>専門家の判断 |

## 追加情報

：  子供の手の届かないところに保管して下さい。  
飲み込まないで下さい。  
医薬品目的での使用は禁止されています (関連規制当局によって明示的に許可されている場合を除く)。  
安全データシートを参照してください。

 前バージョンから変更された情報を指摘する。

Japan / 4.14 / JP

## 注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。  
製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。